

# きれいな東京湾を目指して

九都県市首脳会議 環境問題対策委員会  
水質改善専門部会

(平成28年12月更新)

# 九都県市首脳会議 環境問題対策委員会 水質改善専門部会とは？

- 首都圏に位置する埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市及び相模原市(九都県市)が、広域的な環境問題に積極的に取り組むことを目的として、各種検討を行っています。
- 水質改善専門部会は、東京湾の水質改善に係る下水道の整備や、富栄養化対策等の調査・検討を行っています。
- 「東京湾の現状に興味をもち、どうすればよりきれいになるか知ってもらいたい」と考え、本資料を作成しました。

# 東京湾ってどんなところ？

- 西は三浦半島、東は房総半島に囲まれた閉鎖性海域です。  
(海水の入れ替わりがおきにくい)
- 東京湾の面積は、1,380km<sup>2</sup> !  
(山手線内側面積の約20倍)
- 流域人口は、29,060千人 !  
(日本総人口の約2割)

データ:東京湾環境情報センターHPより



画像:東京湾岸自治体環境保全会議HPより

湾周辺は、埋め立てられた海岸が続きますが、昔からの干潟や人工干潟が作られ、多くの生き物が棲んでいます。

**葛西沖干潟(葛西沖人工渚)**

**<江戸川区>**

かつてのような豊かな自然環境を取り戻そうと、昭和40年代後半から人工的に造成した砂浜です。「東なぎさ」と「西なぎさ」に分かれ、東なぎさは自然や鳥の保護のため、立入禁止となっています。

潮が引いた後の干潟には、カニやヤドカリ、アサリ、マテガイ、ゴカイなどを見つけることができ、また、春と秋には、シギ、チドリ、冬はカモ、カモメなどの群れが集まる野鳥の楽園となっています。

**谷津干潟<習志野市>**

谷津干潟で見られる鳥は、年間で60~80種です。数の多いのは冬で、種類の多いのは春です。

**三番瀬**

**<浦安市・市川市・船橋市・習志野市>**

浦安市から習志野市に広大な干潟が広がっています。渡り鳥の休憩地にもなっており、多くの鳥が集まります。

**多摩川河口干潟(殿町干潟)**

**<川崎市>**

多摩川河口部川崎区殿町緑地周辺に広がる45haの干潟です。生き物はもちろん、対岸の羽田空港の人工的景観とのコントラストやその意外性が魅力です。

**小櫃川河口と盤洲干潟<木更津市>**

小櫃川の河口を中心に広がる盤洲干潟は、東京湾に残された唯一の自然干潟で、その面積は国内最大級の砂質干潟です。貴重な動植物が生息し、渡り鳥の休憩場所となっています。

**富津干潟<富津市>**

アマモ場を持つ、自然環境豊かな干潟です。

**野島干潟,海の公園**

**<横浜市>**

海の公園は埋立によって造成された人口海岸で、海水浴や潮干狩りで多くの家族連れが訪れます。

**館山湾<館山市>**

干潟ではありませんが、アワサングの生息北限地です。

資料:東京湾岸自治体環境保全会議30周年記念誌より

# 東京湾の風景



三番瀬



谷津干潟



盤津干潟

干潟画像：  
環境省HPより



殿町干潟



野島干潟と海の公園



野島干潟のアマモ



野島干潟のアマモ

殿町干潟画像：川崎市より

野島干潟と海の公園、野島干潟のアマモ：神奈川県水産技術センターより 5

# 干潟で見られる生き物たち



スズガモ



ダイゼン



チュウシャクシギ



インガレイ



スズキ



コノシロ



アサリ



アオヤギ



シオフキガイ

画像: 千葉県三番瀬自然環境データベースより



アシハラガニ



トビハゼ



アナジャコ

画像:川崎市より



東京湾で捕れた魚介類を「江戸前」といい、年間を通じて高級料亭や家庭の食卓を賑わしています。



はかりめ井  
(アナゴ)



アオヤギ

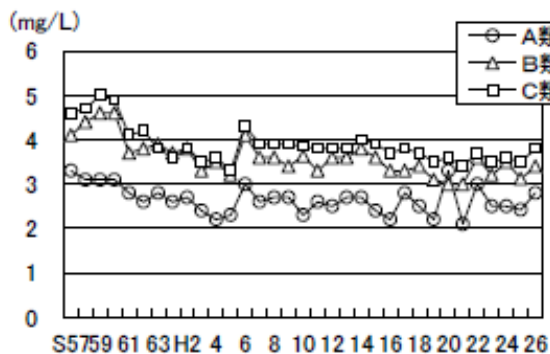


海苔

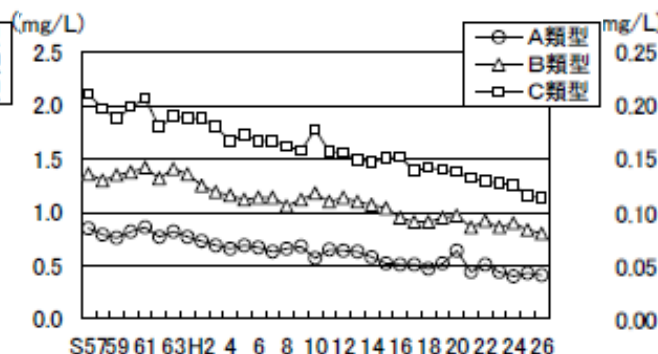
はかりめ井画像:富津市商工会HPより  
アオヤギ、海苔画像:富津市HPより

# 東京湾の水質はどうなっているの？

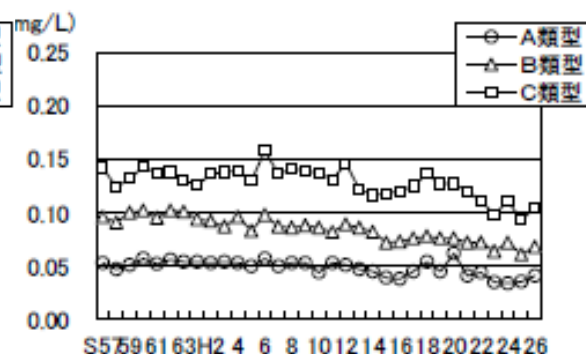
東京湾の水質は、昭和60年頃より改善されましたが、平成6年、10年頃に一時悪化しました。その後緩やかに改善されてきていますが、環境基準（維持されることが望ましい基準）の適合状況は十分とはいえません。



COD(上層)



T-N(上層)



T-P(上層)

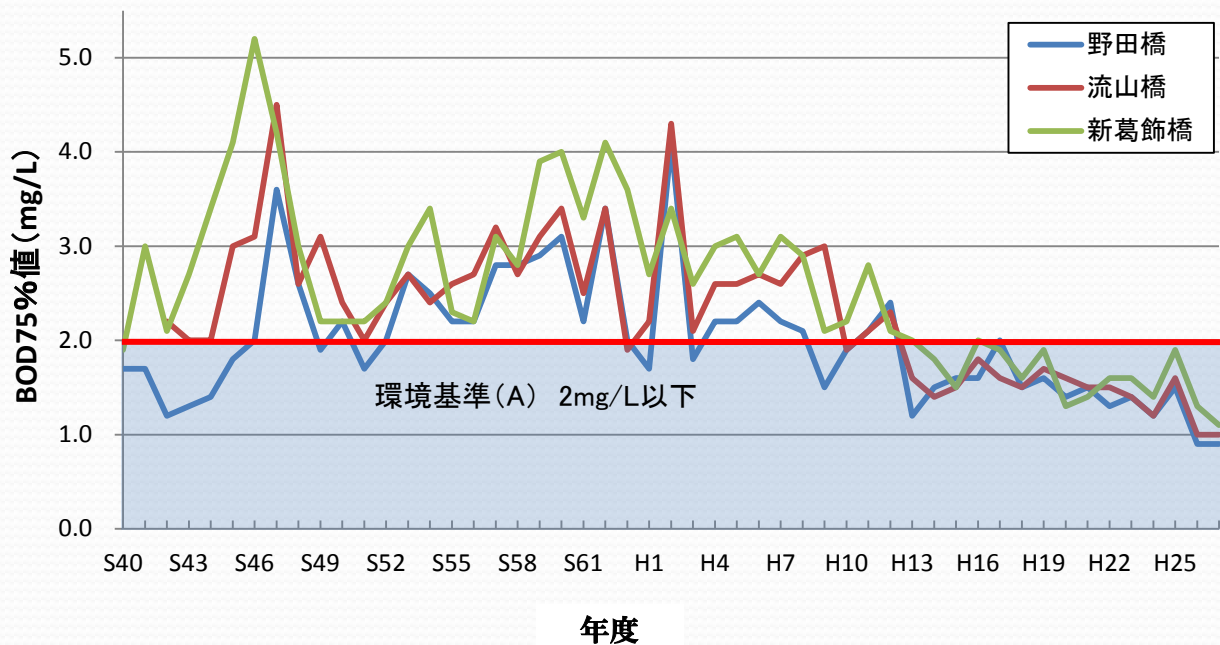
COD : 有機物汚濁の目安

全窒素(T-N)、全りん(T-P): 富栄養化の目安

グラフ: 東京湾岸自治体環境保全会議  
東京湾水質調査報告書(平成26年度)より  
「東京湾のCOD,T-N,T-P値推移」

# 流入河川の水質は？

東京湾には江戸川、荒川及び多摩川といった大小60数本の河川が流入しています。これらの河川を通じて、生活及び工場排水が大量に流入しており、この汚れが東京湾に流入しています。河川水質の浄化が、水質浄化につながります。



グラフ: 江戸川のBOD値推移(国土交通省河川局HPより)

BOD: 有機物汚染のおよその目安魚が棲める濃度は、5mg/L以下といわれており、10mg/L以上になると、悪臭などが発生します。

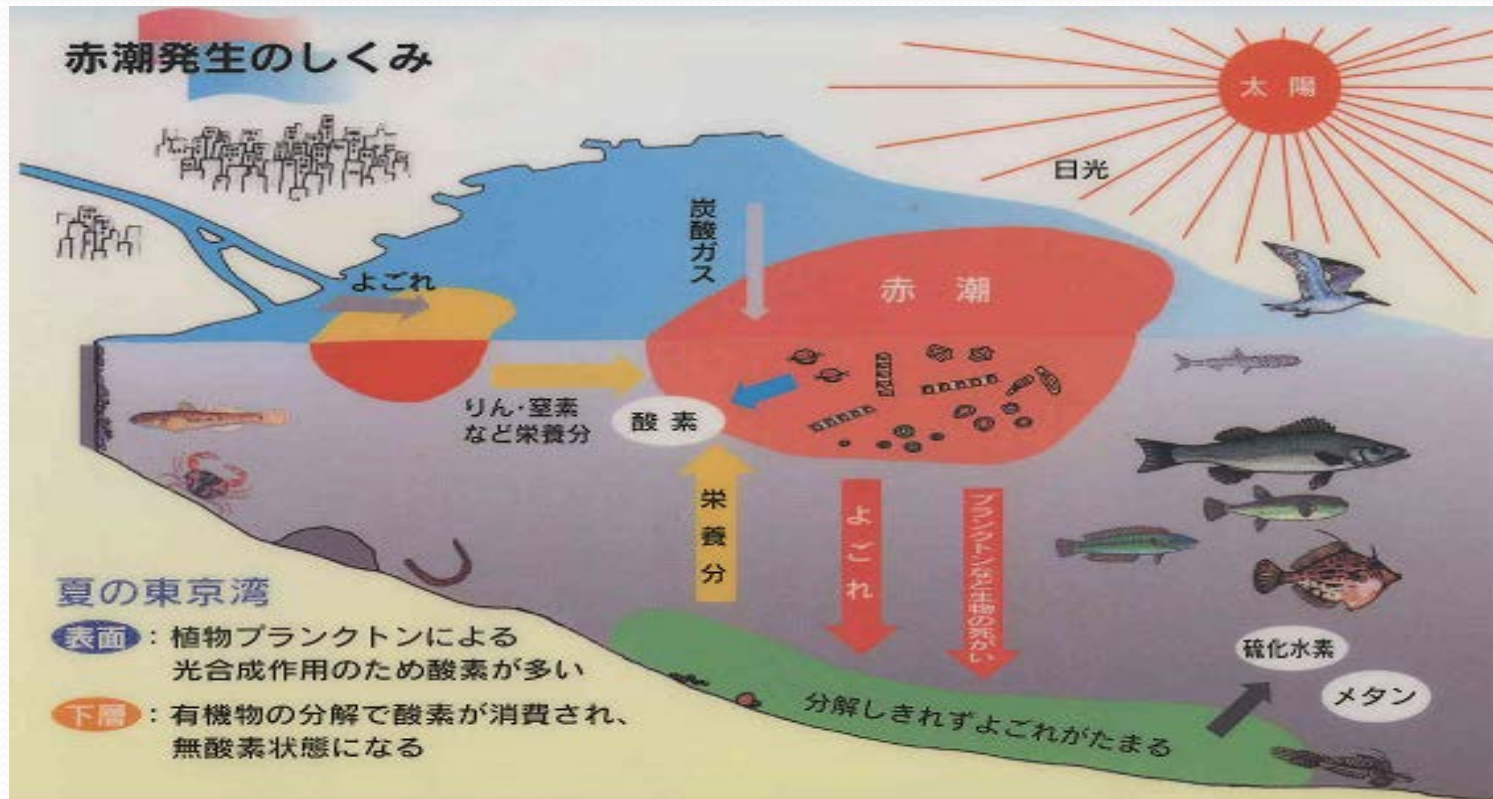
# 色が変わる東京湾

- 気温が上昇する春から夏は、動植物プランクトンが異常繁殖し、赤潮が発生しやすくなります。
- 赤潮の発生後、大量のプランクトンが死滅し、海底に沈んで腐敗すると、海底付近の海水に酸素が無くなった貧酸素状態となります。
- 貧酸素状態の水塊が浮き上がったものが青潮です。
- 青潮が発生すると、魚介類が呼吸できなくなり、大量死を招くことがあります。



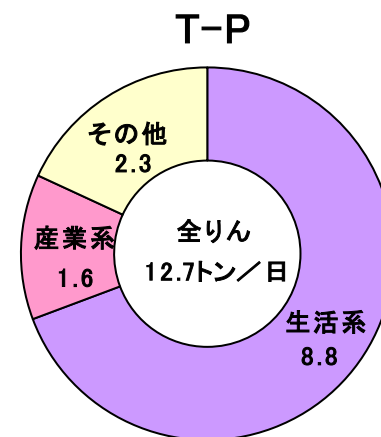
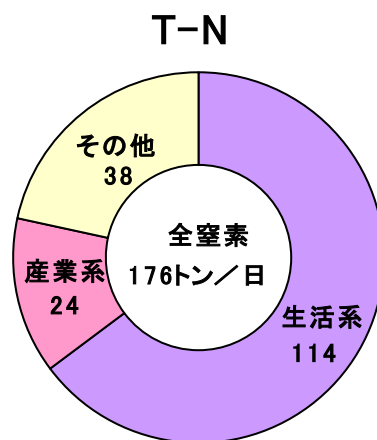
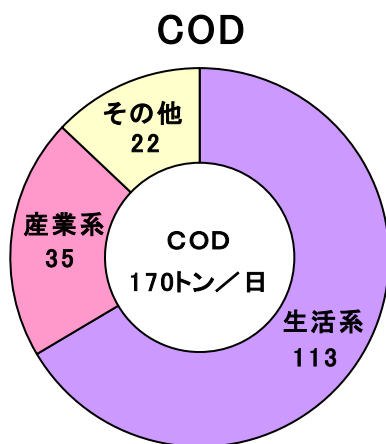
# 東京湾を浄化するには？

- 東京湾には、植物の栄養となる「窒素」や「りん」が豊富に流れ込んでいます。
- 「窒素」や「りん」は動植物の栄養源で、過度に豊富な状態を「富栄養化」といいます。
- 富栄養化の状態になると、「窒素」・「りん」を栄養源とする植物プランクトン等が増殖し、BODやCODを増加させ、水質を悪化させます。
- 東京湾の浄化には、河川水を通じて流入する「窒素」・「りん」等の削減が重要です！



# 東京湾の汚濁原因

- 下のグラフでもわかるように、現在の東京湾の汚濁原因の多くは生活排水が占めています。
- 生活排水の削減・対策が東京湾浄化につながります。
- 美しい東京湾を取り戻すために私達にできることから始めませんか。

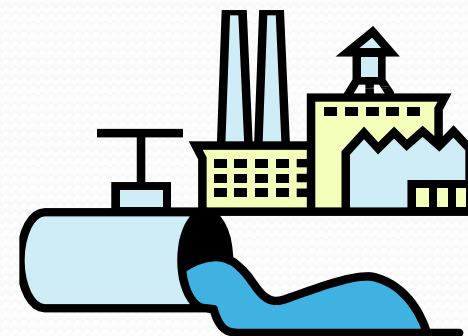


グラフ:環境省平成26年度発生負荷量等算定調査より  
「平成25年度東京湾発生負荷量」

# 行政の取組

東京湾などの水質浄化を図るため、生活及び産業系排水対策として次のような取組を行っています。

- 合併浄化槽の整備促進等
- 工場等からの排出水について基準値を定め、排出水を規制
- 汚濁負荷量を削減するため、排出水量の、総量削減計画を策定



下水道に関して、次のような整備を行っています。

- 下水道普及率の向上
- 「窒素」・「りん」を更に除去するため、高度処理施設の整備
- 雨天時に下水の一部が未処理のまま河川に放流される  
合流式下水道の改善
  - 例・放流口のごみ除去
  - 降雨初期の特に汚れた水を貯め、晴天時に処理し放流

